

平成28年7月の鉱工業活動  
図表集

平成28年9月14日

経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

# 平成28年7月の鉱工業指数(確報)各指数の状況

## 生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	96.5	95.8	111.2	117.3
前月比	▲ 0.4%	0.7%	▲ 2.4%	1.1%
指数水準	H28.5 94.7以来  ①H21.2 76.6 ②H21.3 77.6 ③H21.4 81.0	H28.4 96.0以来  I H20.1,2 118.2 II H20.3 118.1 III H20.5 116.4	H26.10 111.2以来 (超)H26.7 110.7以来  ①H23.3 97.7 ②H22.8 98.3 ③H21.12, H22.9 99.1	H28.5 117.8以来  I H21.2 155.6 II H21.1 150.2 III H21.3 146.3
前月比の動き	2か月ぶり▲ (H28.5以来)	2か月連続+ (H28.6~当月)	3か月ぶり▲ (H28.4以来)	2か月ぶり+ (H28.5以来)
前月比幅	H28.5 ▲2.6%以来  ①H23.3 ▲16.5% ②H21.1 ▲8.8% ③H21.2 ▲8.6%	H28.6 1.7%以来  I H23.6 8.0% II H23.5 5.6% III H22.1 4.3%	H23.3 ▲5.8%以来  ①H23.3 ▲5.8% ②H21.2 ▲3.9% ③H21.3 ▲3.1%	H28.5 1.8%以来  I H20.11 13.2% II H20.12 9.9% III H21.1 9.8%
前年同月比(原指数)	▲ 4.2%	▲ 4.0%	▲ 1.8%	4.0%
前年同月比の動き	4か月連続▲ (H28.4~当月)	8か月連続▲ (H27.12~当月)	5か月ぶり▲ (H28.2以来)	8か月連続+ (H27.12~当月)
前年同月比幅	H28.1 ▲4.2%以来 (超)H27.5 ▲4.5%以来  ①H21.2 ▲37.2% ②H21.3 ▲32.7% ③H21.4 ▲30.0%	H28.1 ▲5.4%以来  ①H21.2 ▲36.1% ②H21.3 ▲32.1% ③H21.1 ▲30.9%	H26.2 ▲3.2%以来  ①H21.12 ▲17.6% ②H22.1 ▲16.8% ③H21.11 ▲16.4%	H28.1 4.1%以来  I H21.2 64.6% II H21.1 54.8% III H21.3 47.9%

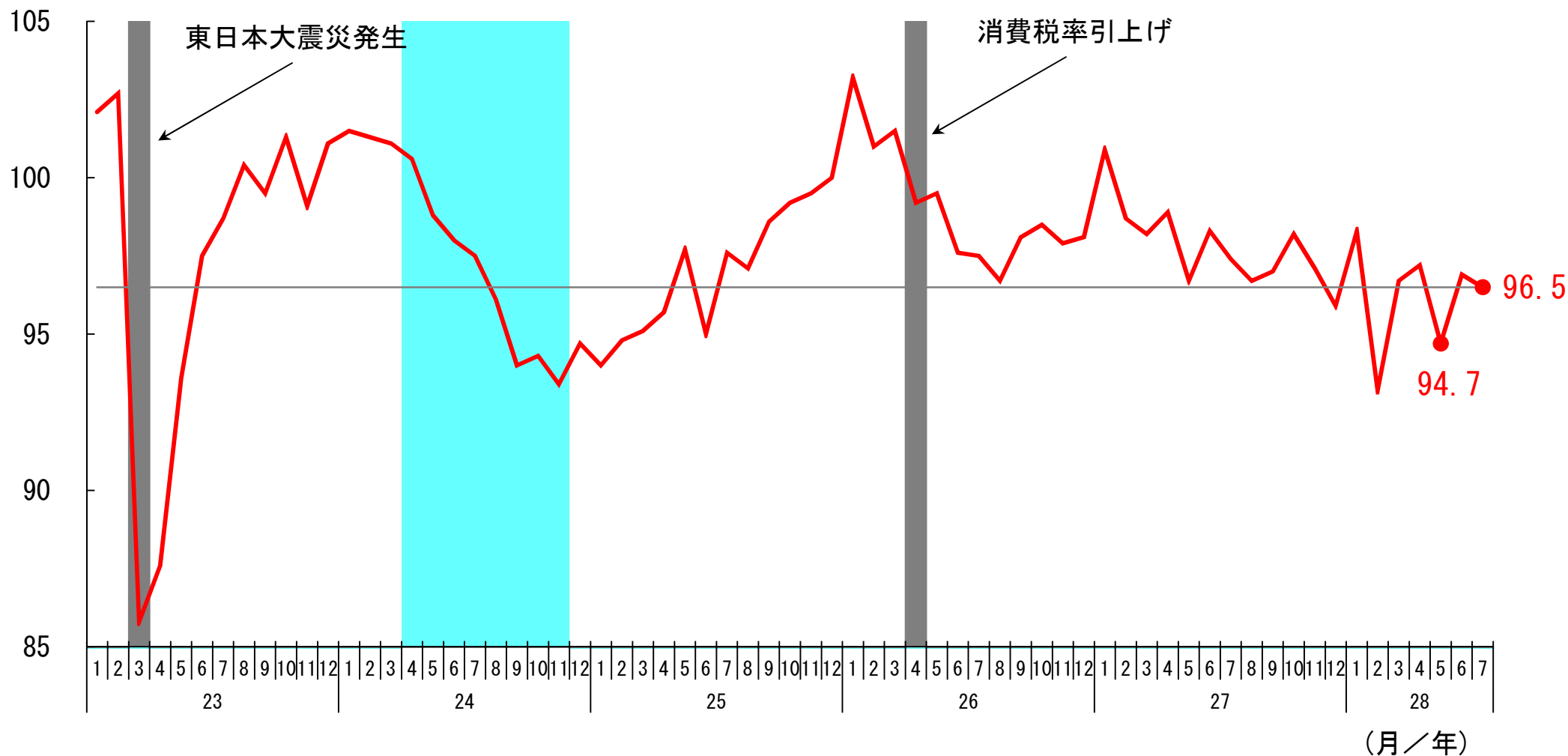
1) ▲はマイナス

2) I ~ IIIは22年基準における最大値から上位3位まで、①~③は最小値から下位3位までの数値

# 鉱工業生産指数の動向

- 平成28年7月の鉱工業生産指数は96.5(前月比▲0.4%)と2か月ぶりの低下。
- 平成28年5月の94.7以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注)1. 鉱工業指数(IIP)とは、月々の鉱工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鉱工業全体の動きを示す代表的な指標。  
2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

# 平成28年7月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ引っ張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	電子部品・デバイス工業	1.5%	28.7%
	品目	集積回路	6.1%	42.5%
		半導体部品	4.2%	4.7%
	2位の業種	電気機械工業	1.6%	26.7%
	品目	回転電気機械	4.9%	12.3%
		民生用電気機械	2.9%	10.1%
3位の業種	輸送機械工業	0.3%	14.3%	
品目	乗用車	4.5%	82.1%	
	自動車部品	0.8%	13.0%	
鉱工業生産を低下方向へ引っ張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	食料品・たばこ工業	▲ 2.2%	▲ 35.3%
	品目	清涼飲料	▲ 7.8%	▲ 41.2%
		酒類	▲ 4.4%	▲ 16.6%
	2位の業種	金属製品工業	▲ 3.1%	▲ 30.3%
	品目	建設用金属製品	▲ 6.3%	▲ 11.7%
		建築用金属製品	▲ 2.6%	▲ 6.5%
3位の業種	はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 0.8%	▲ 28.6%	
品目	ボイラ・原動機	▲ 13.7%	▲ 30.0%	
	産業用ロボット	▲ 11.1%	▲ 26.1%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

# 平成28年7月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

## <全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を <b>上昇</b> 方向 に引っ張った3品目	1位	乗用車	4.5%	82.1%
	2位	集積回路	6.1%	42.5%
	3位	半導体・フラットパネル製造装置	8.2%	42.1%
鉱工業生産を <b>低下</b> 方向 に引っ張った3品目	1位	清涼飲料	▲ 7.8%	▲ 41.2%
	2位	ボイラ・原動機	▲ 13.7%	▲ 30.0%
	3位	航空機	▲ 9.0%	▲ 28.7%

## <財別＝用途別>

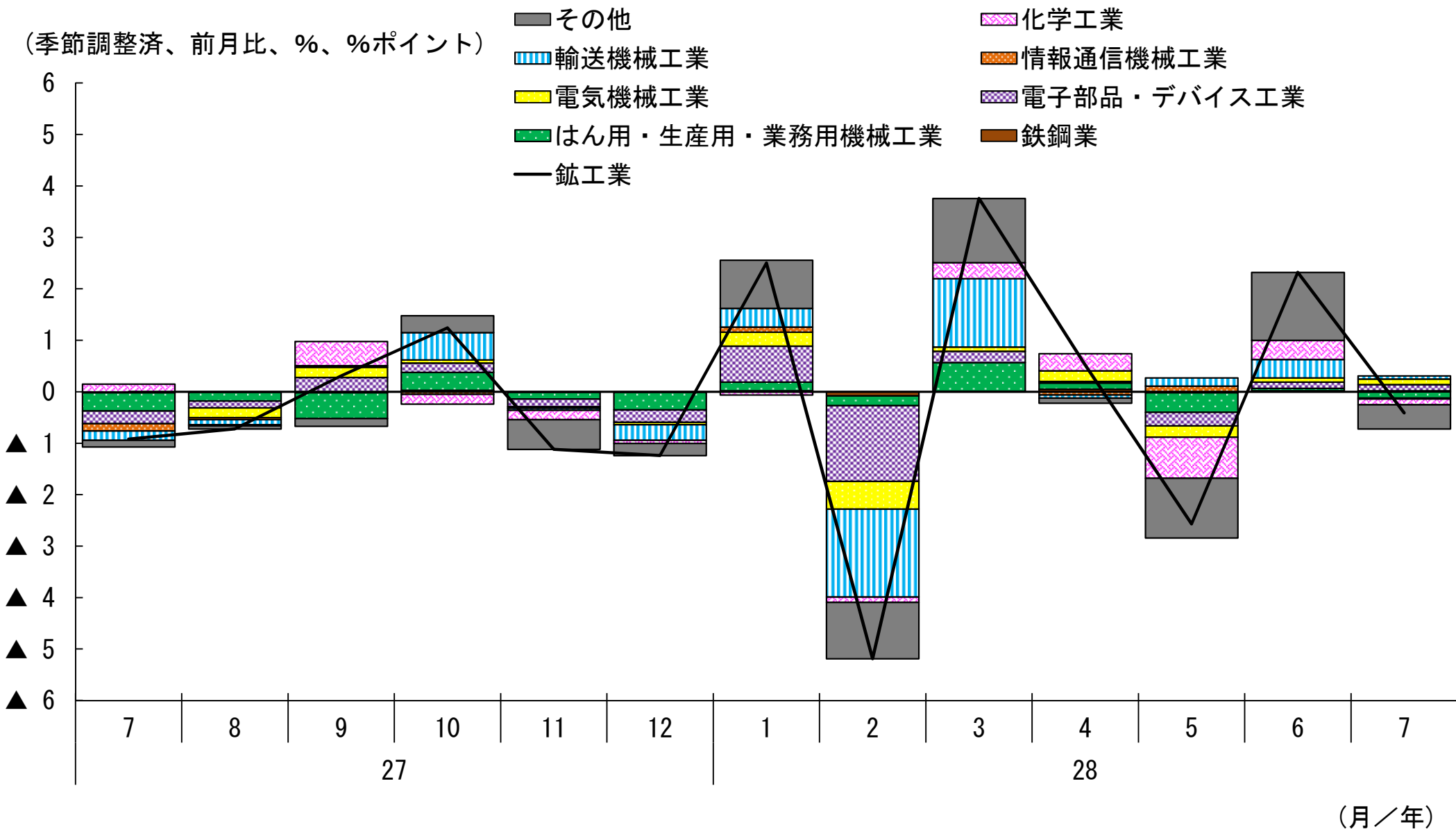
	解説	品目名	前月比	寄与率
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	3.6%	89.6%
		普通乗用車	2.7%	33.1%
		軽乗用車	23.4%	29.0%
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財 (除. 輸送機械)	▲ 0.4%	▲ 13.9%
		数値制御ロボット	▲ 0.4%	▲ 13.9%
		一般用蒸気タービン	▲ 17.1%	▲ 21.3%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	▲ 1.9%	▲ 26.8%
		橋りょう	▲ 19.7%	▲ 18.7%
		システムキッチン	▲ 6.7%	▲ 4.4%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	▲ 0.8%	▲ 26.8%
		洗顔クリーム・フォーム	▲ 23.5%	▲ 12.0%
		クレンジングクリーム	▲ 19.8%	▲ 11.3%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	▲ 0.5%	▲ 63.1%
		航空機用発動部品	▲ 24.2%	▲ 40.6%
		アクティブ型液晶素子 (中・小型)	▲ 15.0%	▲ 31.0%

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

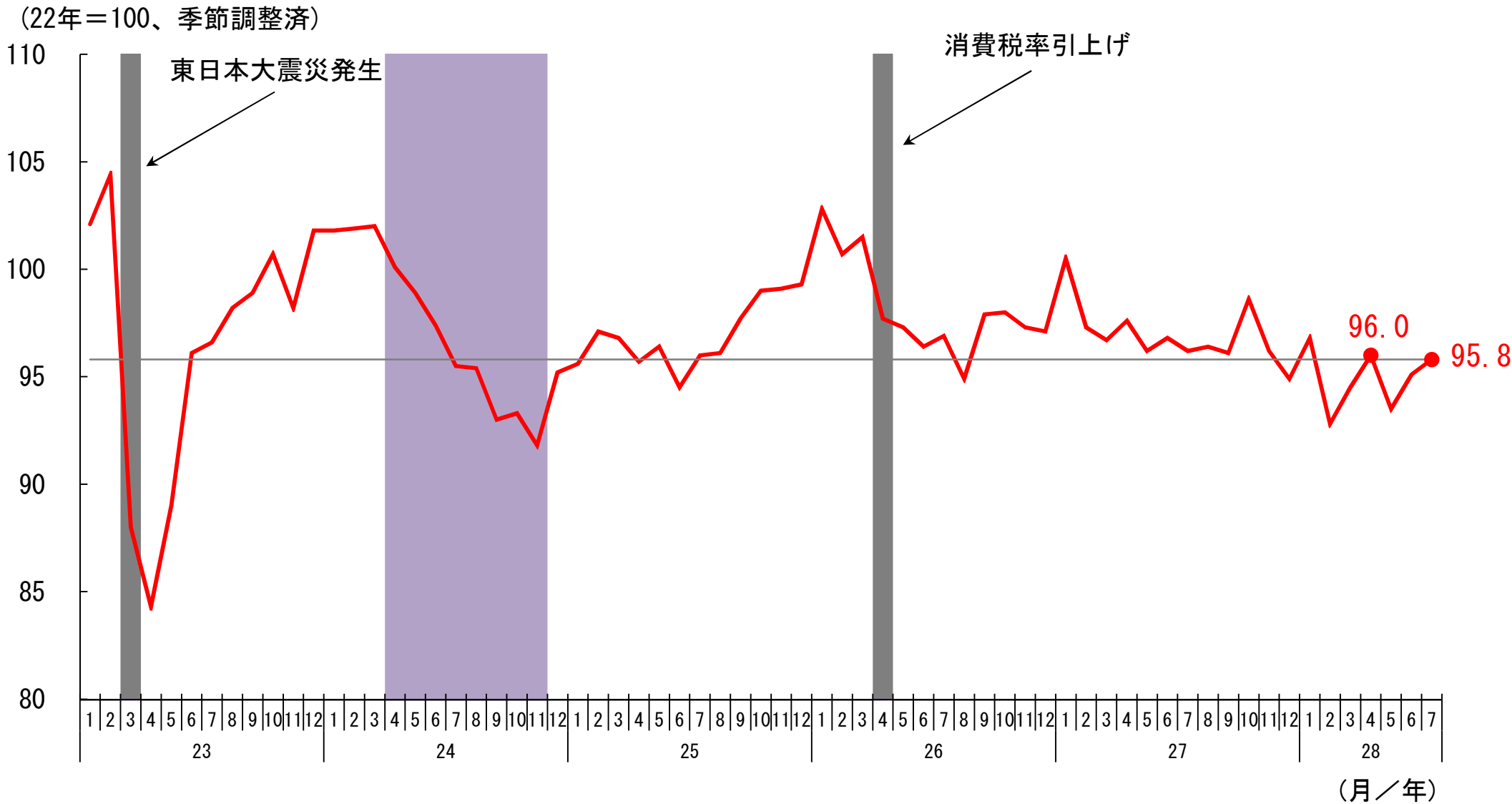
# 鉱工業生産指数への業種別寄与度分解

- 平成28年7月の生産指数は電子部品・デバイス工業などが上昇したものの、はん用・生産用・業務用機械工業などが低下したため、前月比▲0.4%の低下。



# 鉛工業出荷指数の動向

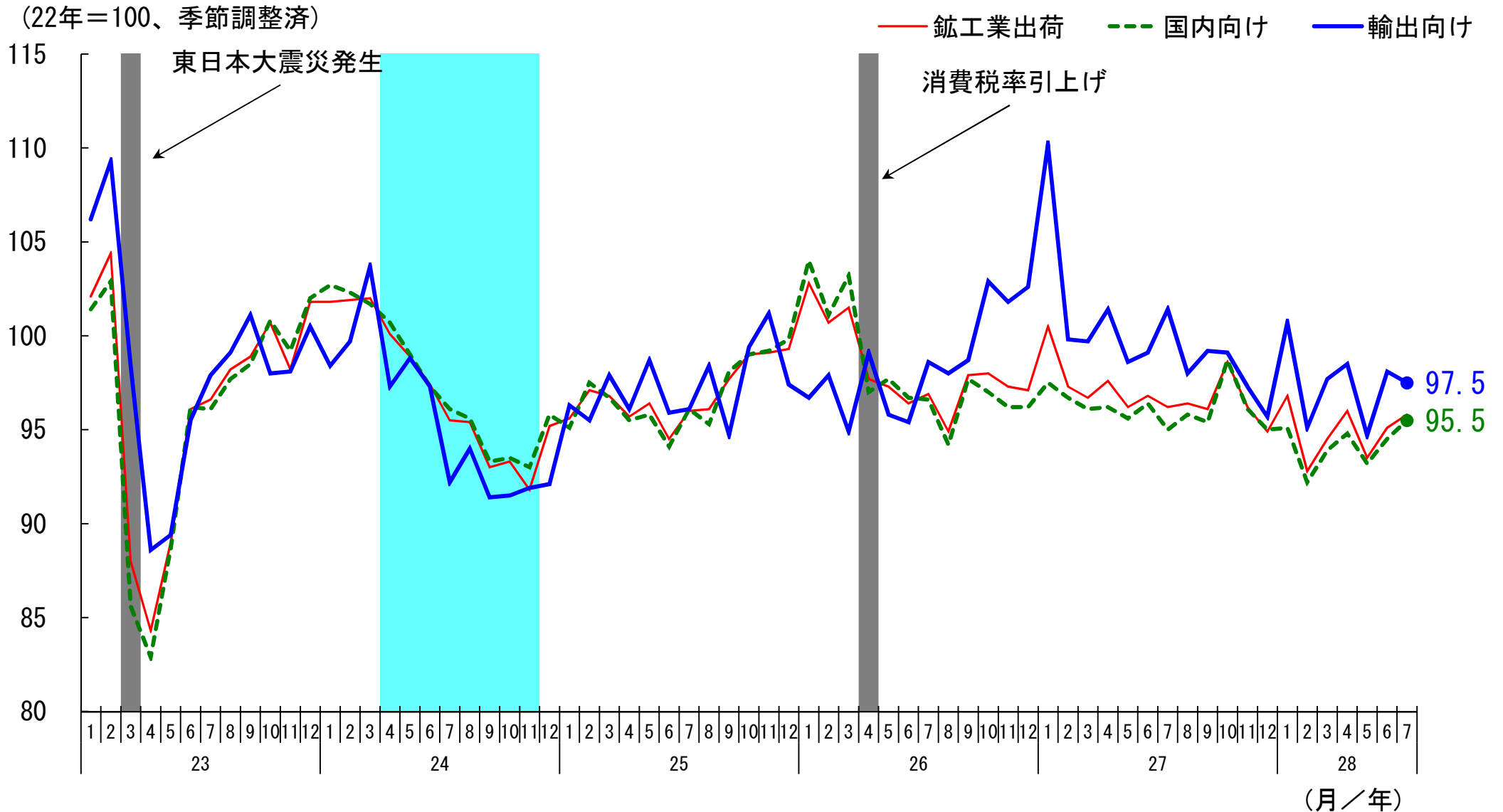
- ・平成28年7月の鉛工業出荷指数は95.8(前月比0.7%)と2か月連続の上昇。
- ・平成28年4月の96.0以来の指数水準。



(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面。

# 国内向け／輸出向け出荷の動向

平成28年7月の鉱工業出荷を国内向け／輸出向け別にみると、国内向けは95.5(前月比1.1%)と2か月連続の上昇、輸出向けは97.5(前月比▲0.6%)と2か月ぶりの低下。



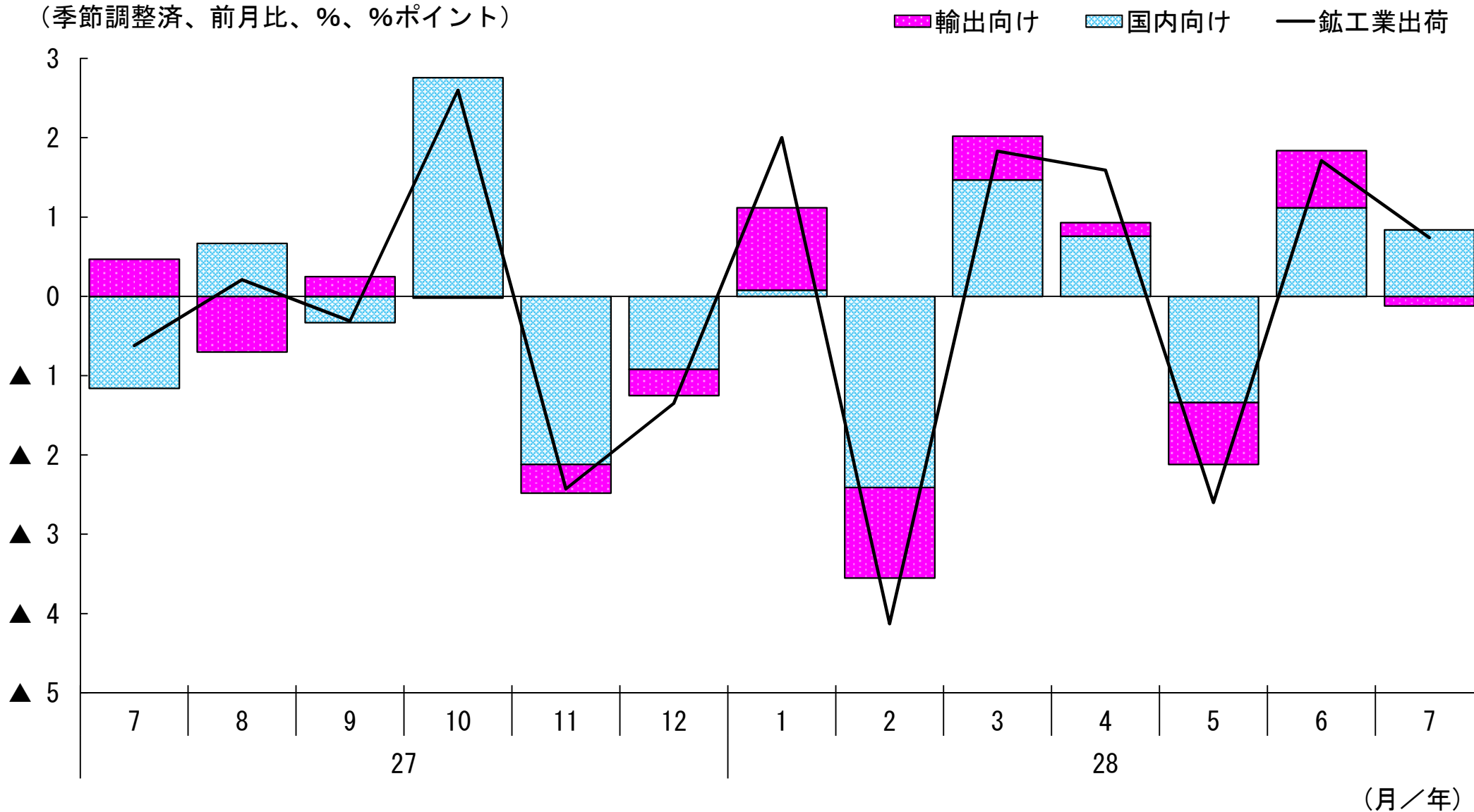
(注) 水色のシャド一部分は景気後退局面。



# 鉍工業出荷への国内向け／輸出向け別寄与度分解

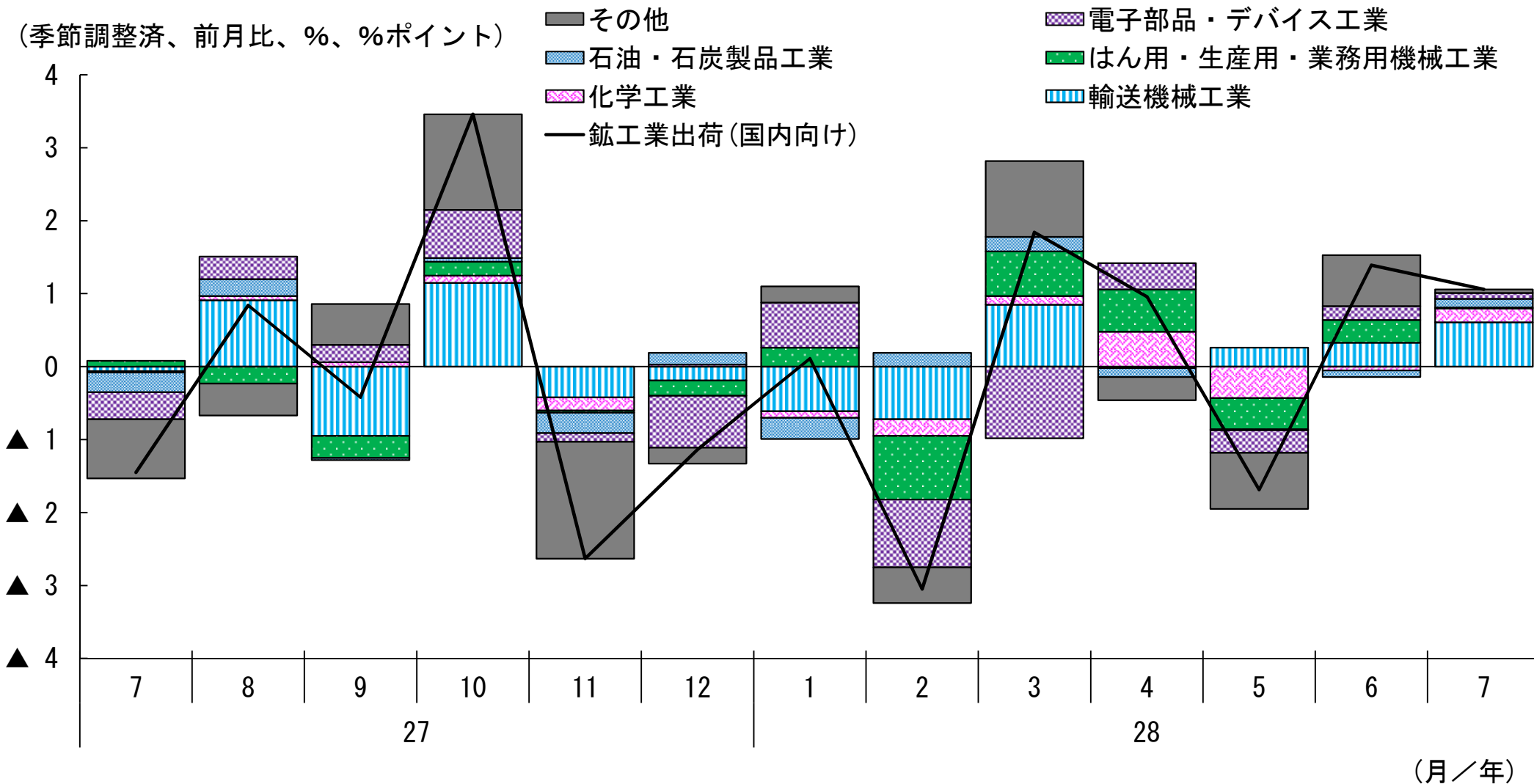
- 平成28年7月の鉍工業出荷は輸出向けは低下したものの、国内向けは上昇したため、前月比0.7%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



# 国内向け出荷への業種別寄与度分解

- 平成28年7月の国内向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業などが上昇。

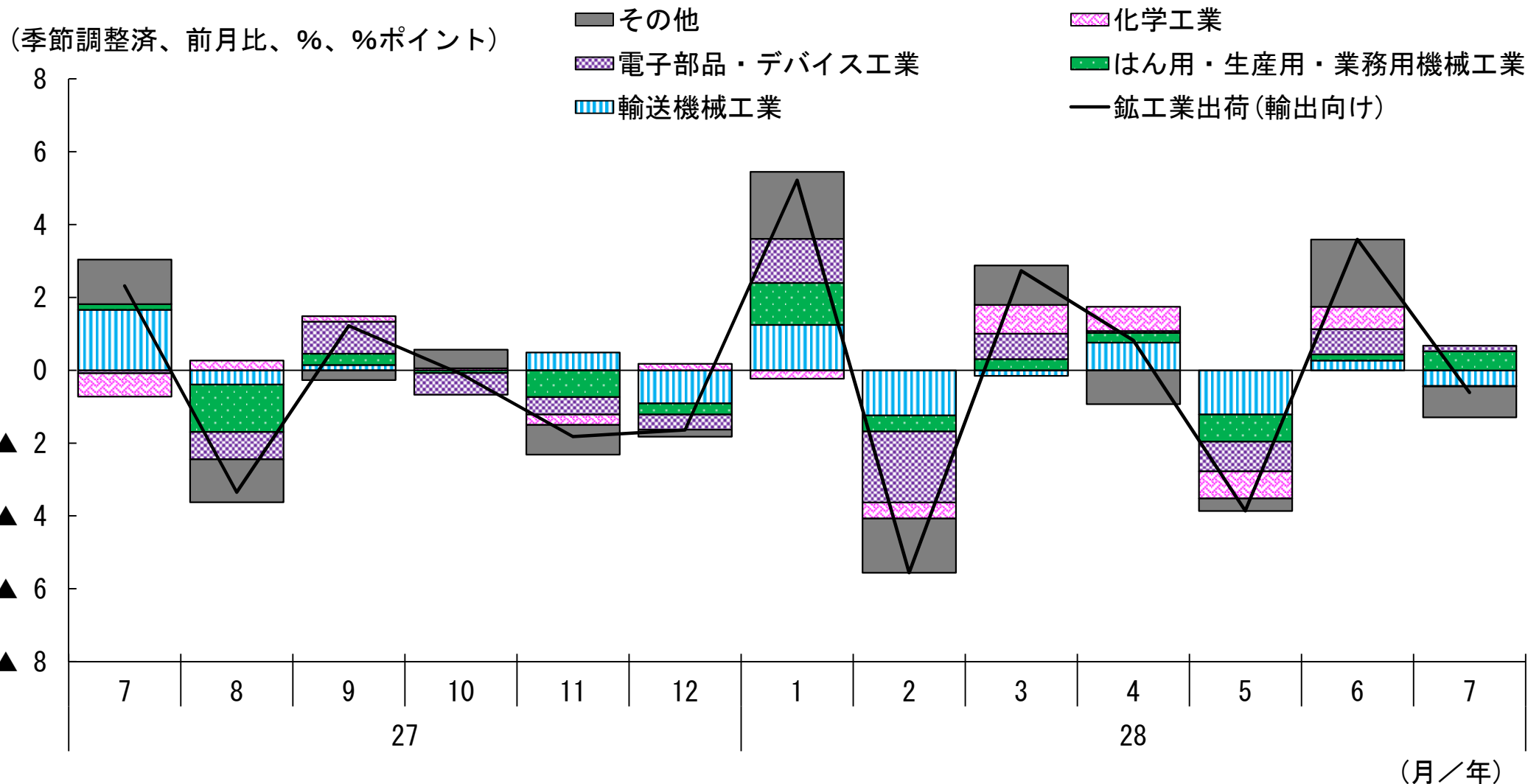


(注)主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト8028.51)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。

具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1658.38)、化学工業(同、同860.84)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同796.12)、石油・石炭製品工業(同、同574.89)、電子部品・デバイス工業(同、同457.59)。

# 輸出向け出荷への業種別寄与度分解

- 平成28年7月の輸出向け出荷を、主要業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械工業などが上昇したものの、輸送機械工業などが低下。

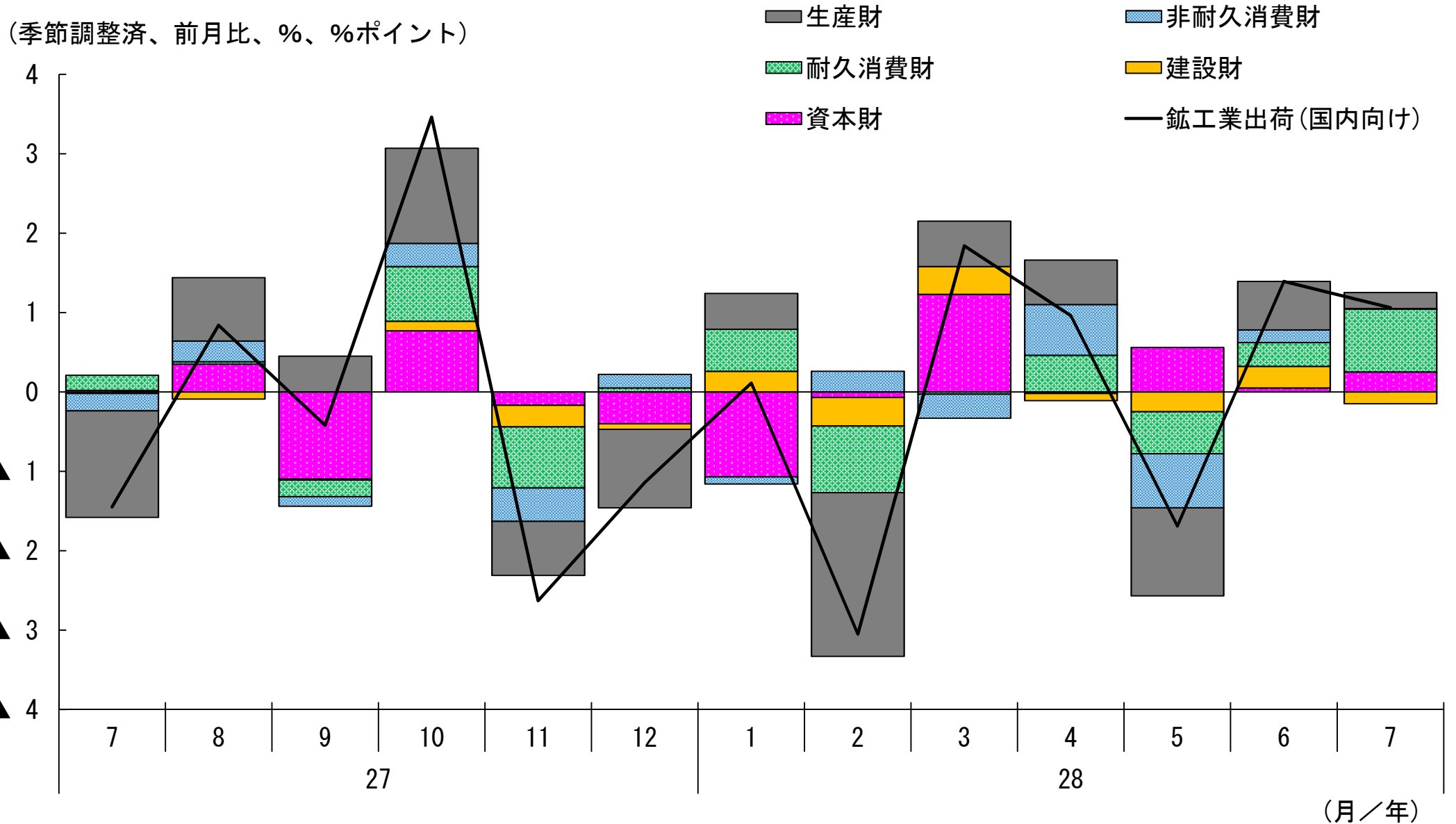


(注)主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト1971.49)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。

具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト560.52)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同289.48)電子部品・デバイス工業(同、同253.51)、化学工業(同、同180.06)の4業種。

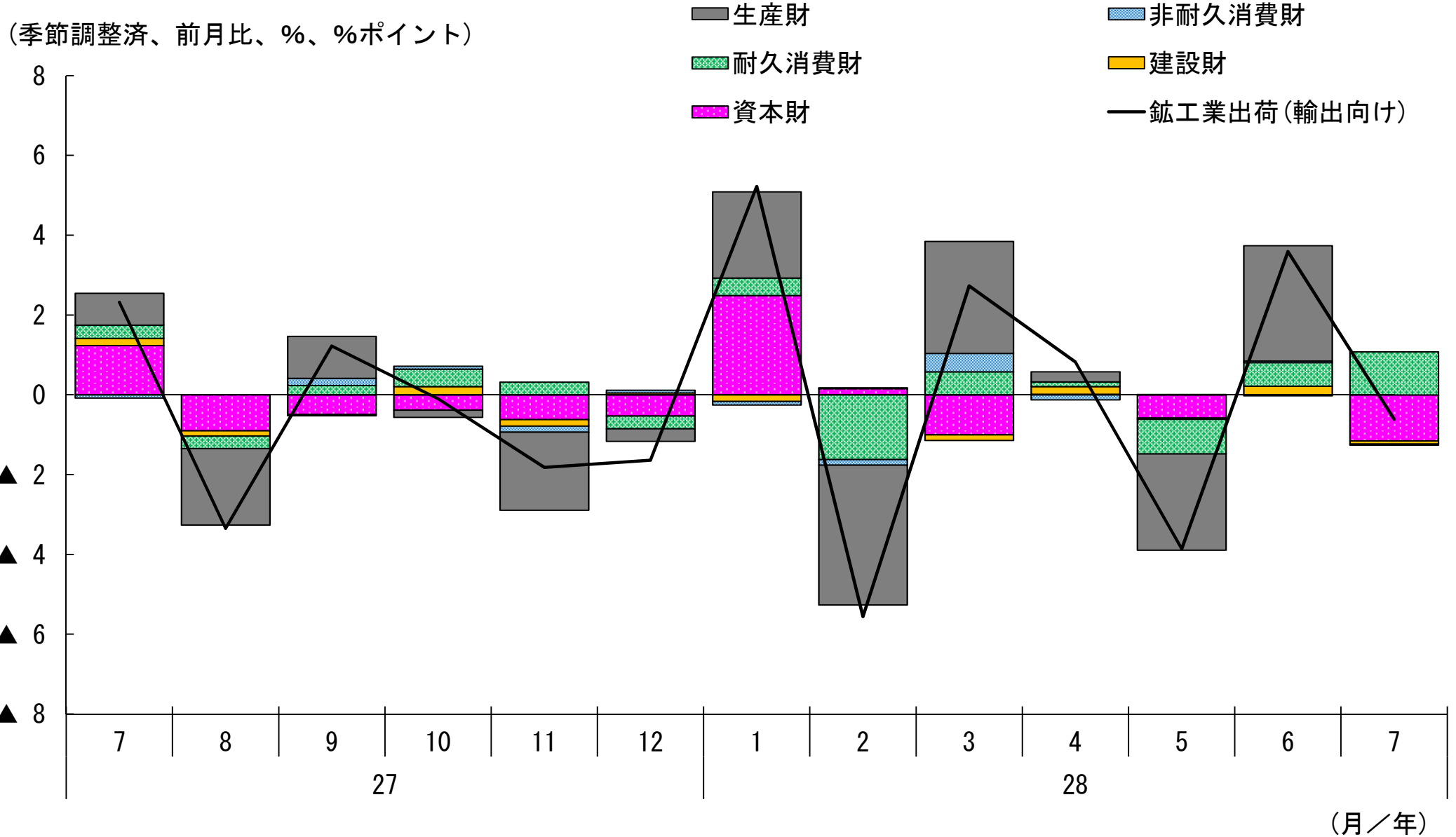
# 国内向け出荷への財別寄与度分解

- 平成28年7月の国内向け出荷を、財別にみると、建設財が低下したものの、耐久消費財などが上昇。



# 輸出向け出荷への財別寄与度分解

- 平成28年7月の輸出向け出荷を、財別にみると、耐久消費財が上昇したものの、資本財などが低下。



# 平成28年7月の国内向け出荷への財別・業種別の変動寄与

財別分類		前月比(%)	寄与率(%)
<b>鉱工業</b>		<b>1.1</b>	<b>114.7</b>
<b>耐久消費財</b>		<b>6.2</b>	<b>85.9</b>
	輸送機械工業	7.7	77.0
	電気機械工業	12.5	16.6
<b>資本財</b>		<b>1.3</b>	<b>26.8</b>
	はん用・生産用・業務用機械工業	1.6	16.7
	電気機械工業	6.5	14.9
<b>鉱工業用生産財</b>		<b>0.2</b>	<b>9.7</b>
	鉄鋼業	6.2	35.4
	化学工業	2.3	13.5
<b>その他用生産財</b>		<b>1.1</b>	<b>6.4</b>
	石油・石炭製品工業	1.7	5.9
	プラスチック製品工業	6.5	2.9
<b>非耐久消費財</b>		<b>0.1</b>	<b>1.6</b>
	石油・石炭製品工業	5.6	14.6
	化学工業	1.7	8.2
<b>建設財</b>		<b>▲ 2.2</b>	<b>▲ 16.0</b>
	金属製品工業	▲ 2.2	▲ 6.5
	鉄鋼業	▲ 5.4	▲ 4.9

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

(注)試算値。

# 平成28年7月の輸出向け出荷への財別・業種別の変動寄与

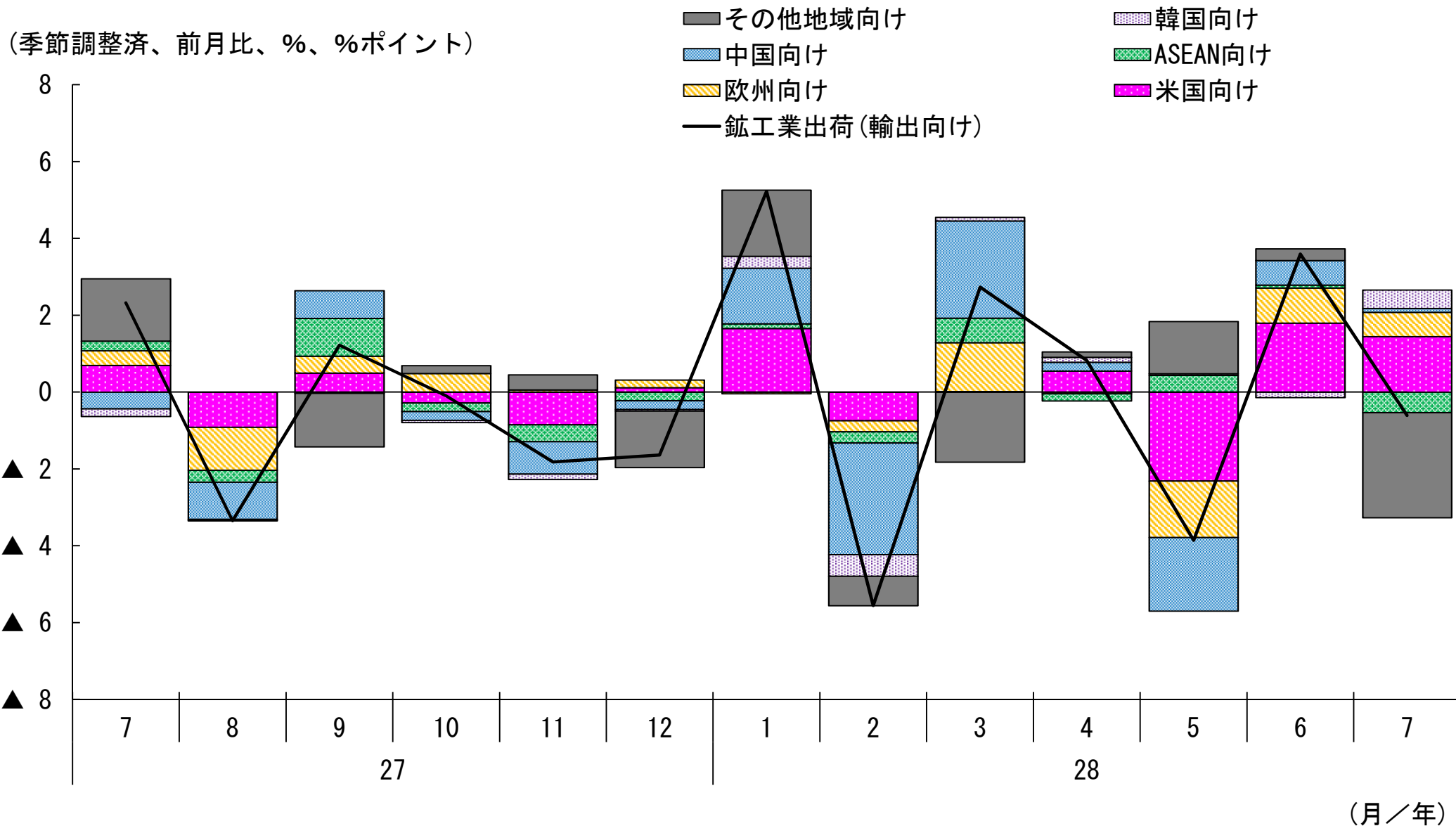
財別分類	前月比(%)	寄与率(%)
<b>鉱工業</b>	<b>▲ 0.6</b>	<b>▲ 16.9</b>
<b>資本財</b>	<b>▲ 5.9</b>	<b>▲ 31.9</b>
輸送機械工業	▲ 21.3	▲ 32.8
情報通信機械工業	▲ 11.6	▲ 3.0
<b>その他用生産財</b>	<b>▲ 11.9</b>	<b>▲ 11.4</b>
石油・石炭製品工業	▲ 18.2	▲ 9.1
その他工業	▲ 6.0	▲ 1.1
<b>建設財</b>	<b>▲ 3.7</b>	<b>▲ 2.2</b>
金属製品工業	▲ 53.6	▲ 5.5
電気機械工業	▲ 16.0	▲ 1.4
<b>非耐久消費財</b>	<b>▲ 0.9</b>	<b>▲ 0.9</b>
化学工業	▲ 3.6	▲ 1.7
繊維工業	▲ 14.9	▲ 0.4
<b>鉱工業用生産財</b>	<b>0.9</b>	<b>14.5</b>
鉄鋼業	11.6	19.2
はん用・生産用・業務用機械工業	7.2	9.1
<b>耐久消費財</b>	<b>8.4</b>	<b>30.0</b>
輸送機械工業	11.9	35.2
その他工業	9.9	1.8

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

(注)試算値。

# 輸出向け出荷への地域別寄与度分解

- 平成28年7月の輸出向け出荷を、地域別にみると、米国向けなどが上昇したものの、その他地域向けなどが低下。

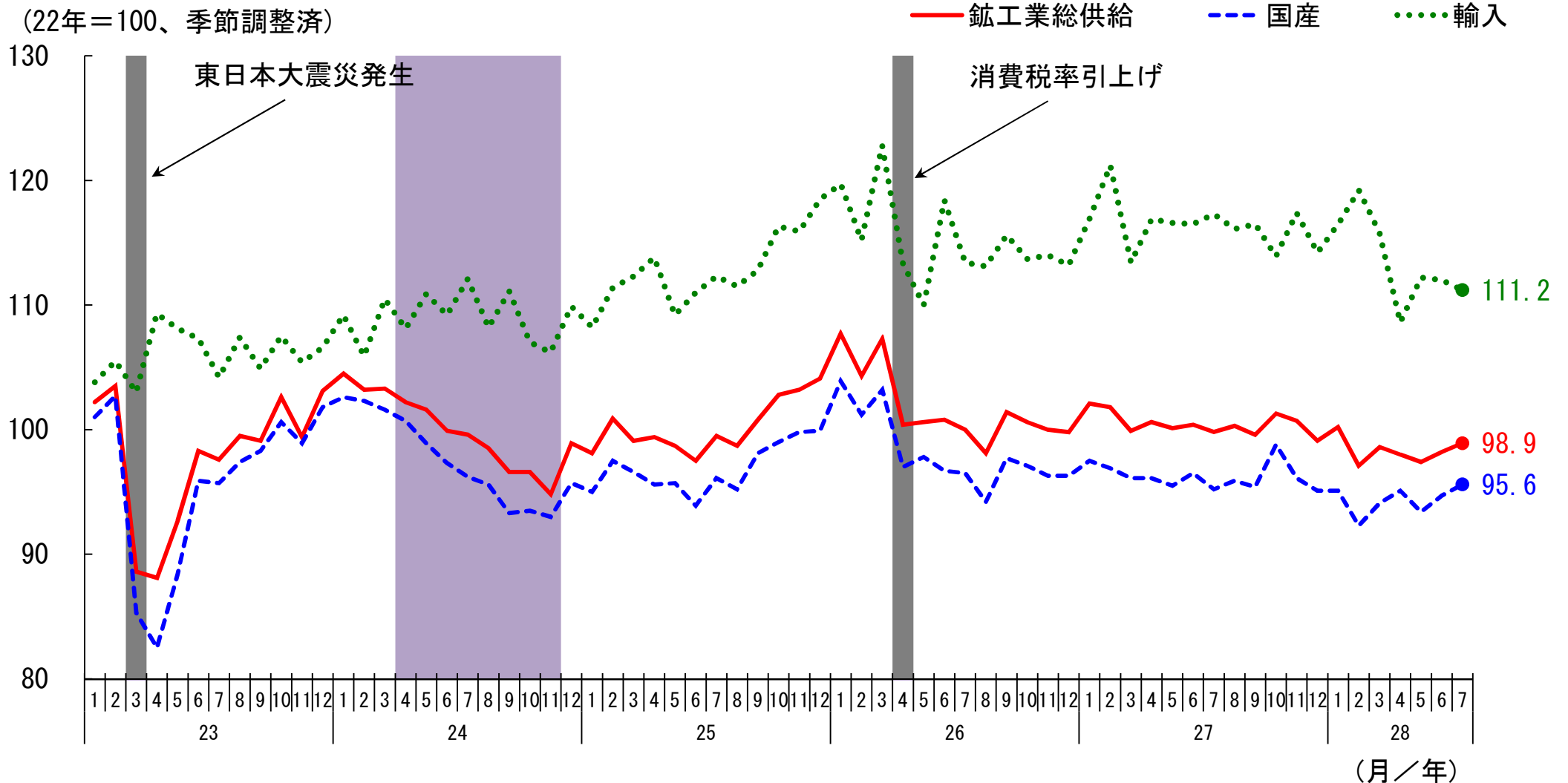


(注) 試算値。



# 鋳工業総供給指数の動向

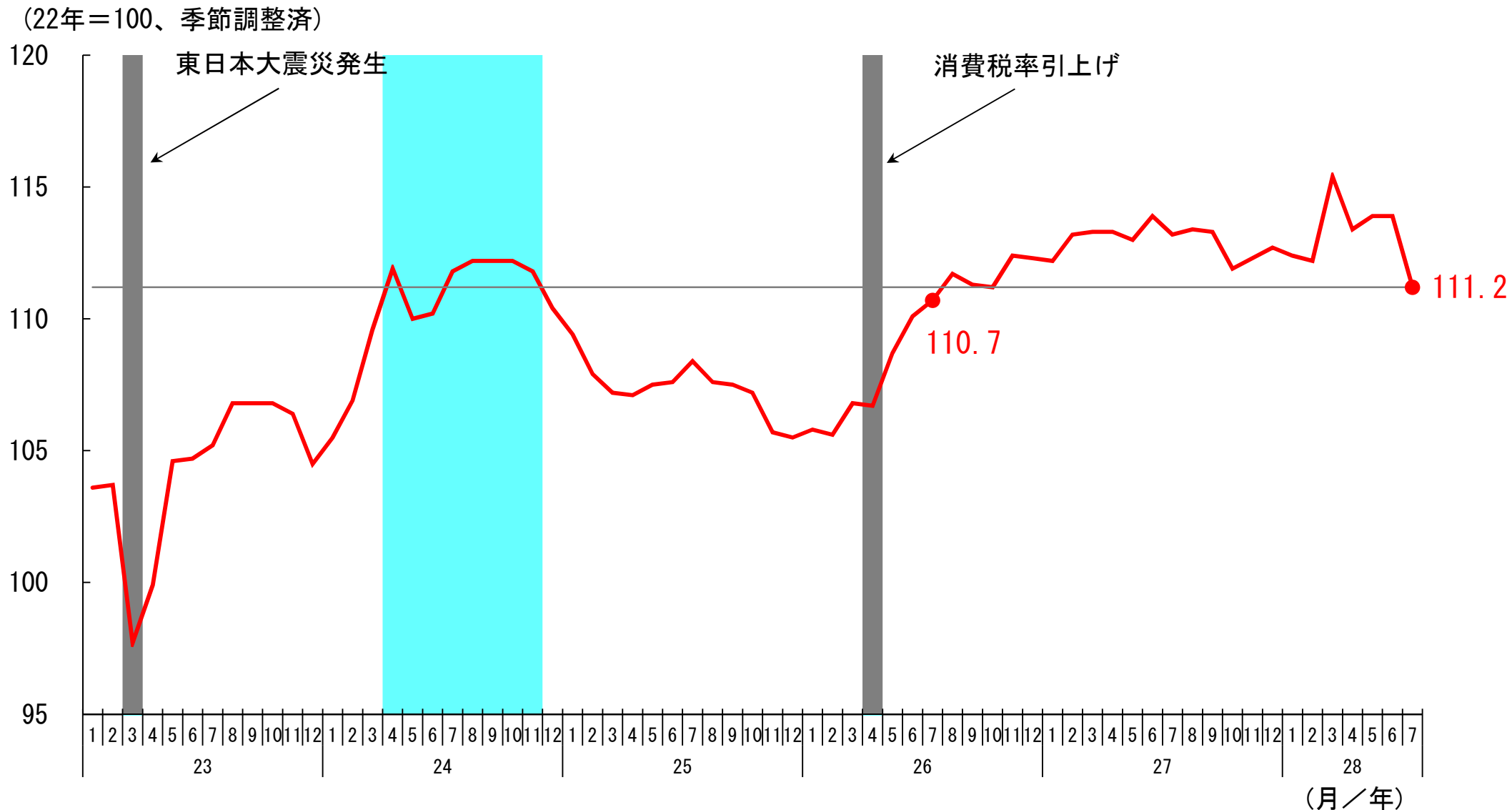
- ・平成28年7月の鋳工業総供給指数は98.9(前月比0.7%)と2か月連続の上昇。
- ・内訳をみると、国産は95.6(前月比1.0%)と2か月連続の上昇、輸入は111.2(前月比▲0.7%)と2か月連続の低下。



(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面。

# 鉱工業在庫指数の動向

- ・平成28年7月の在庫指数は111.2(前月比▲2.4%)と3か月ぶりの低下。
- ・平成26年7月の110.7以来の指数水準。

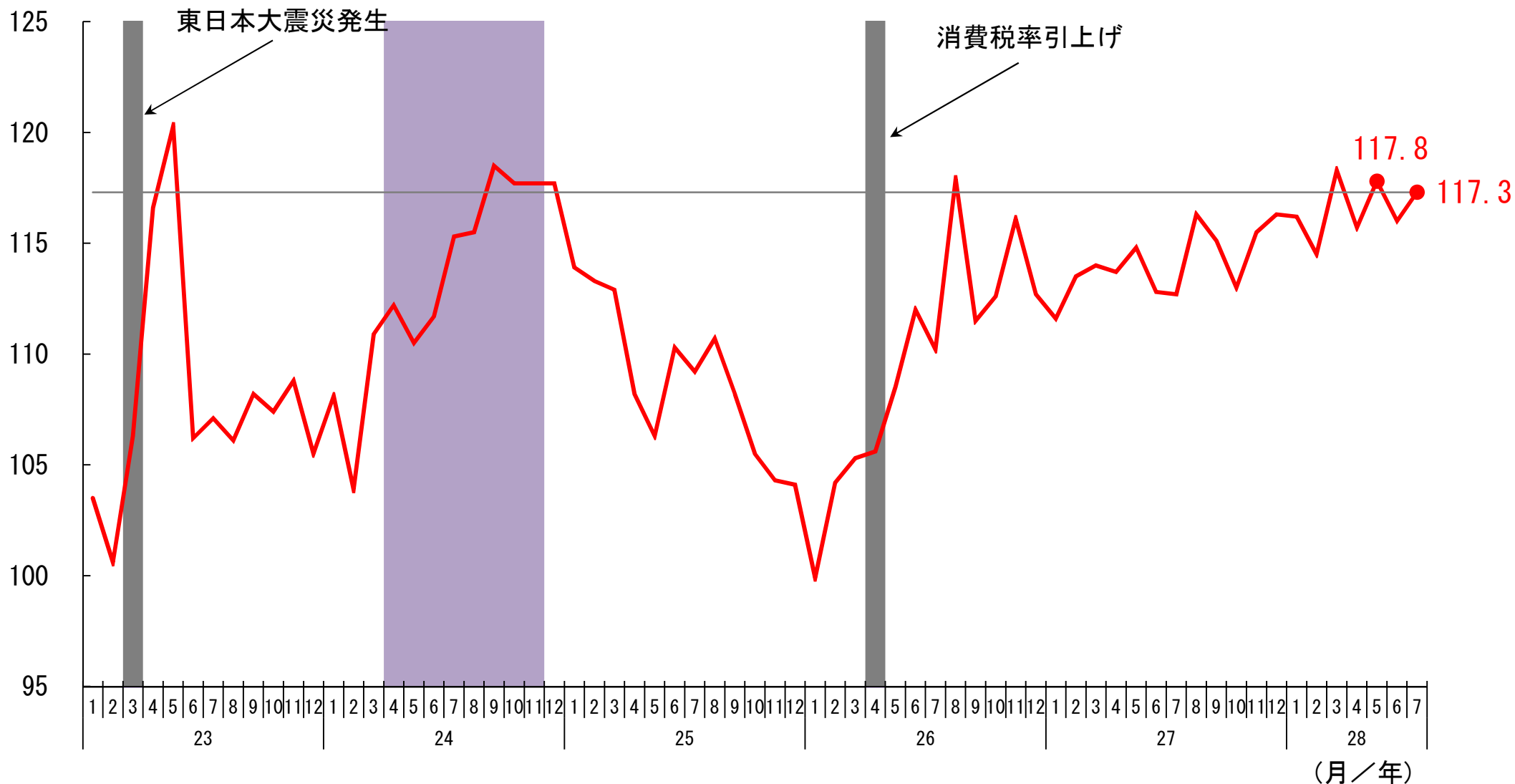


(注) 水色のシャド一部分は景気後退局面。

# 鋳工業在庫率指数の動向

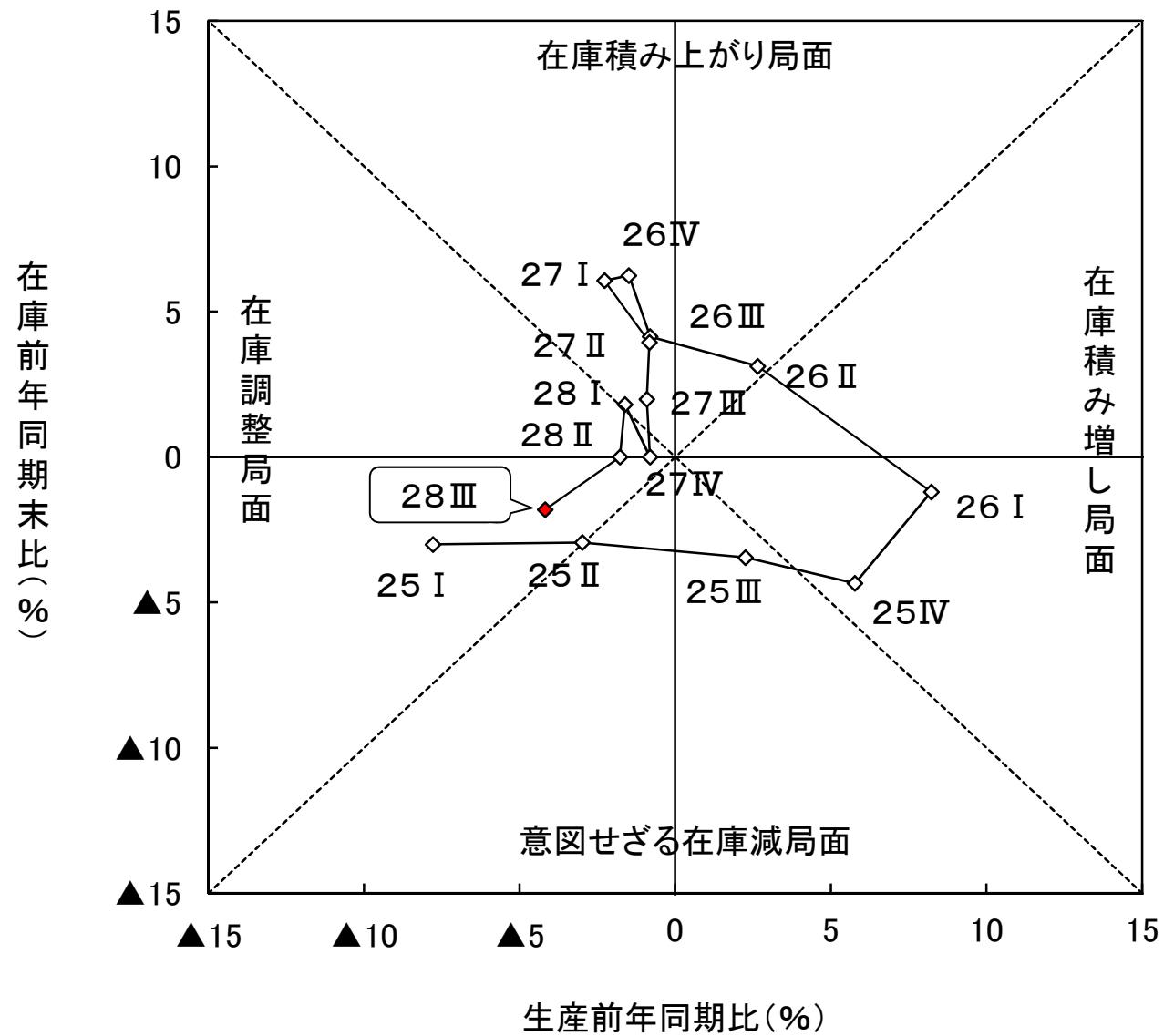
- 平成28年7月の在庫率指数は117.3(前月比1.1%)と2か月ぶりの上昇。
- 平成28年5月の117.8以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面。

# 鋁工業の在庫循環図



(注) 「28年Ⅲ」は平成28年7月の値を使用。

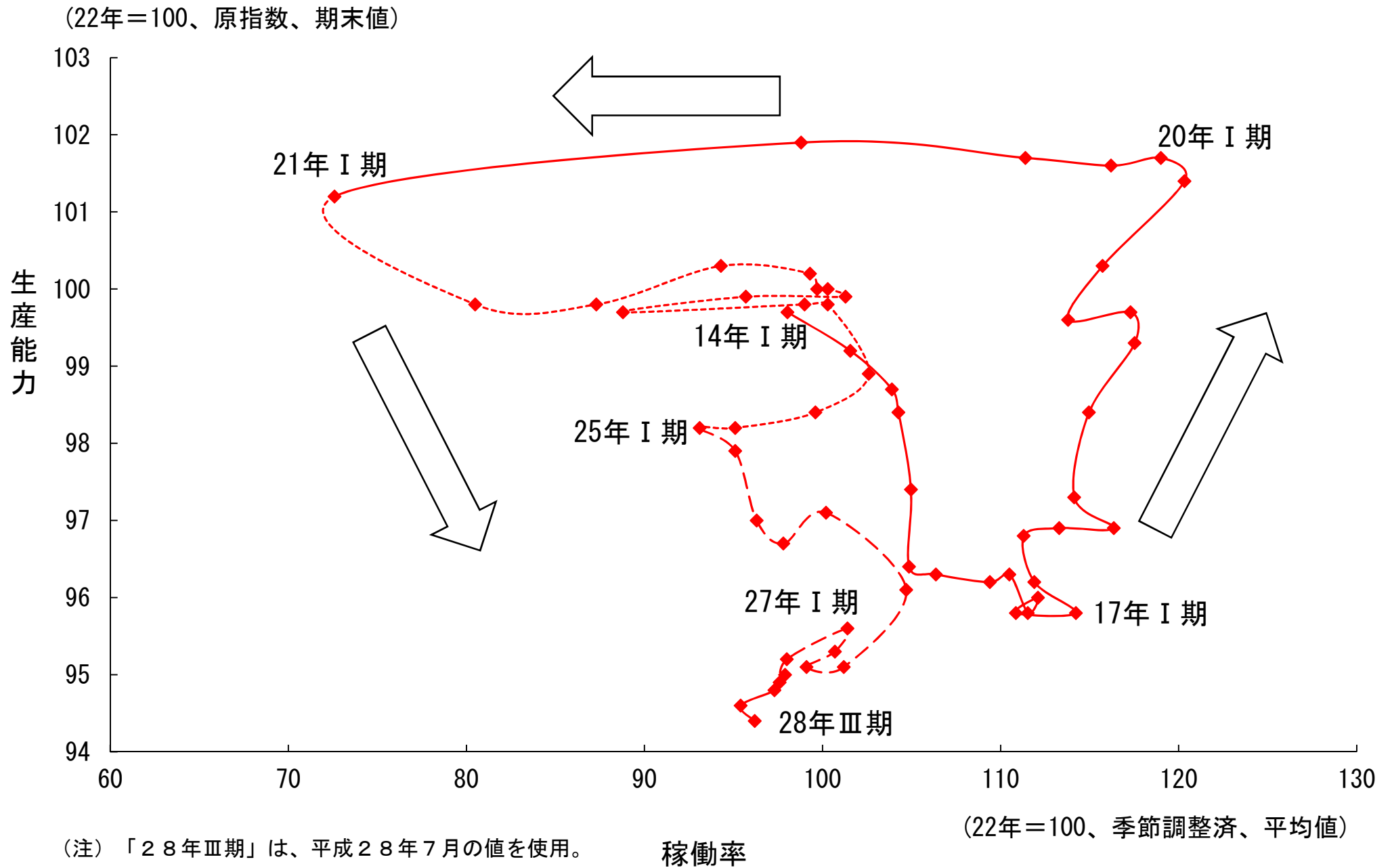
# 平成28年7月の製造工業稼働率・生産能力指数の状況

月次	稼働率		能力			
	機械工業	非機械工業	機械工業	非機械工業		
季調済指数	96.2	95.6	97.5	94.4 (原指数)	95.6 (原指数)	92.8 (原指数)
前月比	0.6%	1.4%	0.3%	▲ 0.2%	▲ 0.1%	▲ 0.2%
指数水準	H28.4 96.5以来  I H20.2 119.4 II H20.1 118.8 III H20.3 118.7	H28.3 97.0以来  I H20.2 125.7 II H20.3 124.6 III H20.1 124.4	H28.4 99.0以来  I H20.1 110.8 II H20.2 110.7 III H20.3 110.4	22年基準最低水準  ①H28.7 94.4 ②H28.4, 5, 6 94.6 ③H28.1, 3 94.8	H27.8 95.6以来 (超)H26.11 95.5以来  ①H26.7 94.8 ②H26.8 94.9 ③H26.9 95.0	22年基準最低水準  ①H28.7 92.8 ②H28.4, 5, 6 93.0 ③H28.3 93.4
前月比の動き	2か月連続+ (H28.6~当月)	2か月連続+ (H28.6~当月)	2か月連続+ (H28.6~当月)	3か月ぶり▲ (H28.4以来)	3か月ぶり▲ (H28.4以来)	3か月ぶり▲ (H28.4以来)
前月比幅	H28.6 1.5%以来  I H23.5 14.4% II H21.4 9.8% III H23.6 6.5%	H28.3 4.3%以来  I H23.5 24.0% II H23.6 10.2% III H21.4 9.9%	H28.6 0.8%以来  I H21.4 8.2% II H23.5 4.1% III H21.5 3.2%	H28.4 ▲0.2%以来 (超)H27.8 ▲0.3%以来  ①H21.4 ▲1.2% ②H26.1 ▲1.1% ③H24.1, H26.4 ▲0.9%	H28.4 ▲0.1%以来 (超)H28.1 ▲0.2%以来  ①H21.4 ▲1.9% ②H24.1, H26.1 ▲1.6% ③H25.4 ▲1.3%	H28.4 ▲0.4%以来  ①H26.4 ▲1.0% ②H21.10, H22.1, 7, H23.1, H24.4, H28.4 ▲0.4%
前年同月比(原指数)	▲ 4.6%	▲ 6.1%	▲ 2.1%	▲ 0.8%	▲ 0.5%	▲ 1.1%
前年同月比の動き	8か月連続▲ (H27.12~当月)	19か月連続▲ (H27.1~当月)	2か月ぶり▲ (H28.5以来)	12か月連続▲ (H27.8~当月)	7か月連続▲ (H28.1~当月)	94か月連続▲ (H20.10~当月)
前年同月比幅	H28.1 ▲5.3%以来  ①H21.2 ▲43.9% ②H21.3 ▲40.5% ③H21.1 ▲35.0%	H28.4 ▲7.5%以来  ①H21.2 ▲50.8% ②H21.3 ▲46.1% ③H21.1 ▲40.7%	H26.6 ▲2.2%以来  ①H21.2 ▲32.0% ②H21.3 ▲30.7% ③H21.1 ▲25.8%	H28.5 ▲0.9%以来  ①H21.7, 8, H26.11 ▲2.1% ②H26.1, 2, 4, 6, 10 ▲2.0% ③H21.9, H26.12 ▲1.9%	H28.5 ▲0.5%以来 (超)H26.12 ▲1.9%以来  ①H21.8 ▲2.7% ②H21.7, H25.7, H26.1, 2 ▲2.6%	H28.6 ▲1.2%以来  ①H22.12, H23.1 ▲2.1% ②H22.9, 11, H23.2, 5, 6, H26.4 ▲2.0%

1) ▲はマイナス

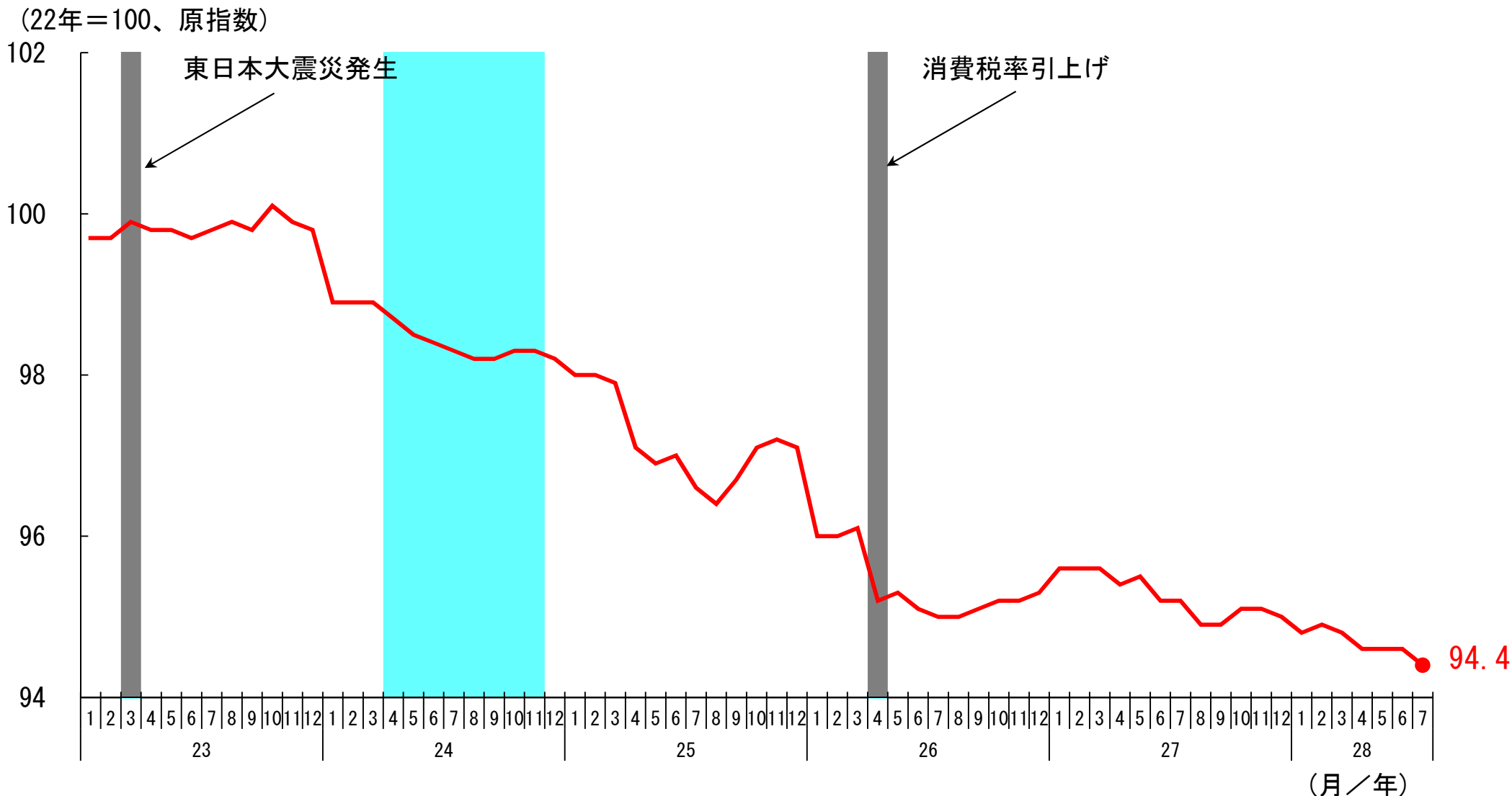
2) I～Ⅲは22年基準における最大値から3位まで、①～③は最小値から3位までの数値

# 稼働率と生産能力の循環図(製造工業)



# 製造工業生産能力指数の動向

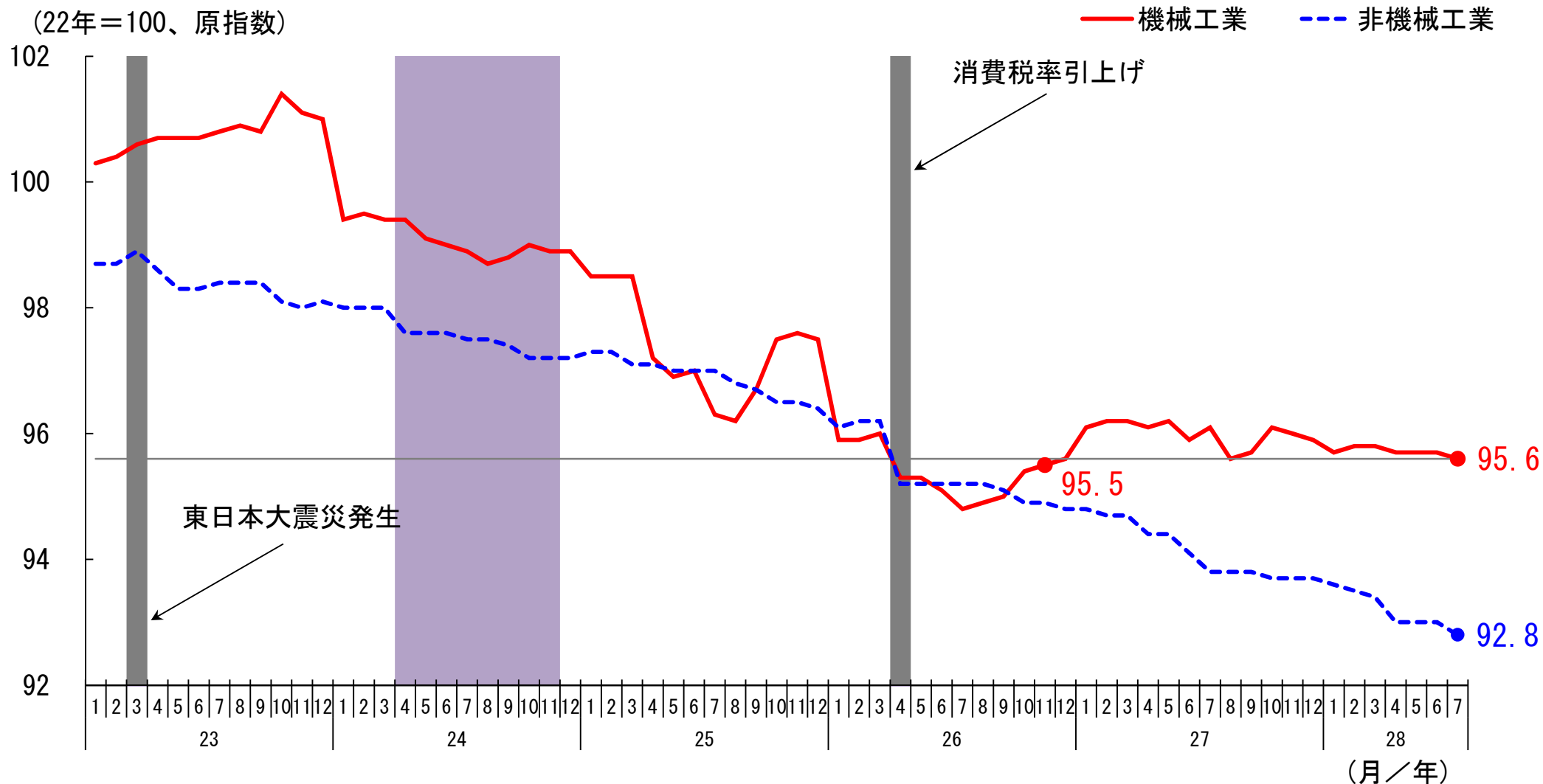
- ・平成28年7月の製造工業生産能力指数は94.4(前月比▲0.2%)と3か月ぶりの低下。



(注)1. 製造工業生産能力指数とは、月々の製造工業の生産能力を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもの。  
2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

# 機械工業と非機械工業の生産能力指数の動向

- 平成28年7月の機械工業の生産能力指数は95.6(前月比▲0.1%)と3か月ぶりの低下。  
平成26年11月の95.5以来の指数水準。
- 非機械工業の生産能力指数は92.8(前月比▲0.2%)と3か月ぶりの低下。



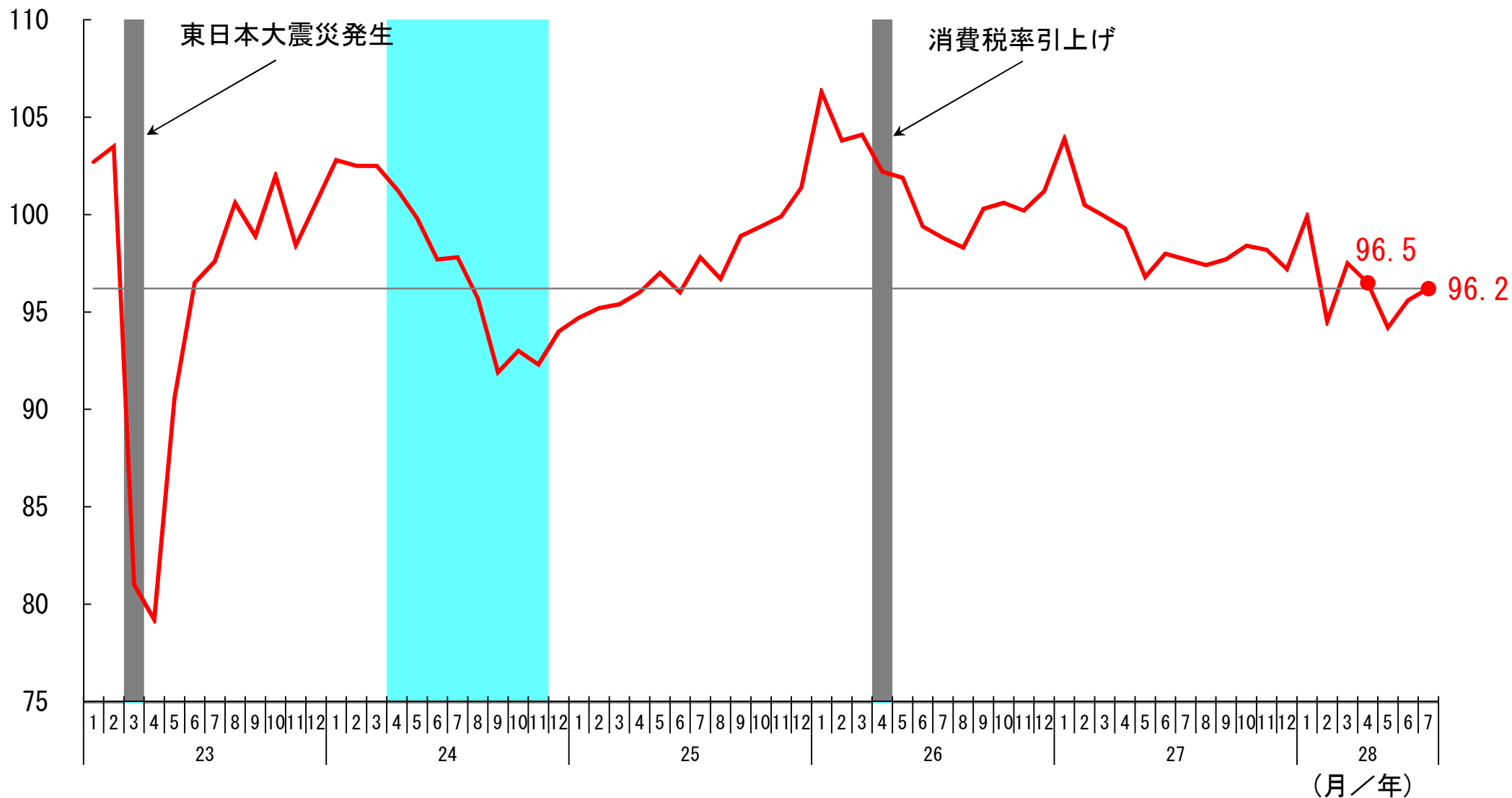
(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面



# 製造工業稼働率指数の動向

- 平成28年7月の製造工業稼働率指数は96.2 (前月比0.6%) と2か月連続の上昇。
- 平成28年4月の96.5以来の指数水準。

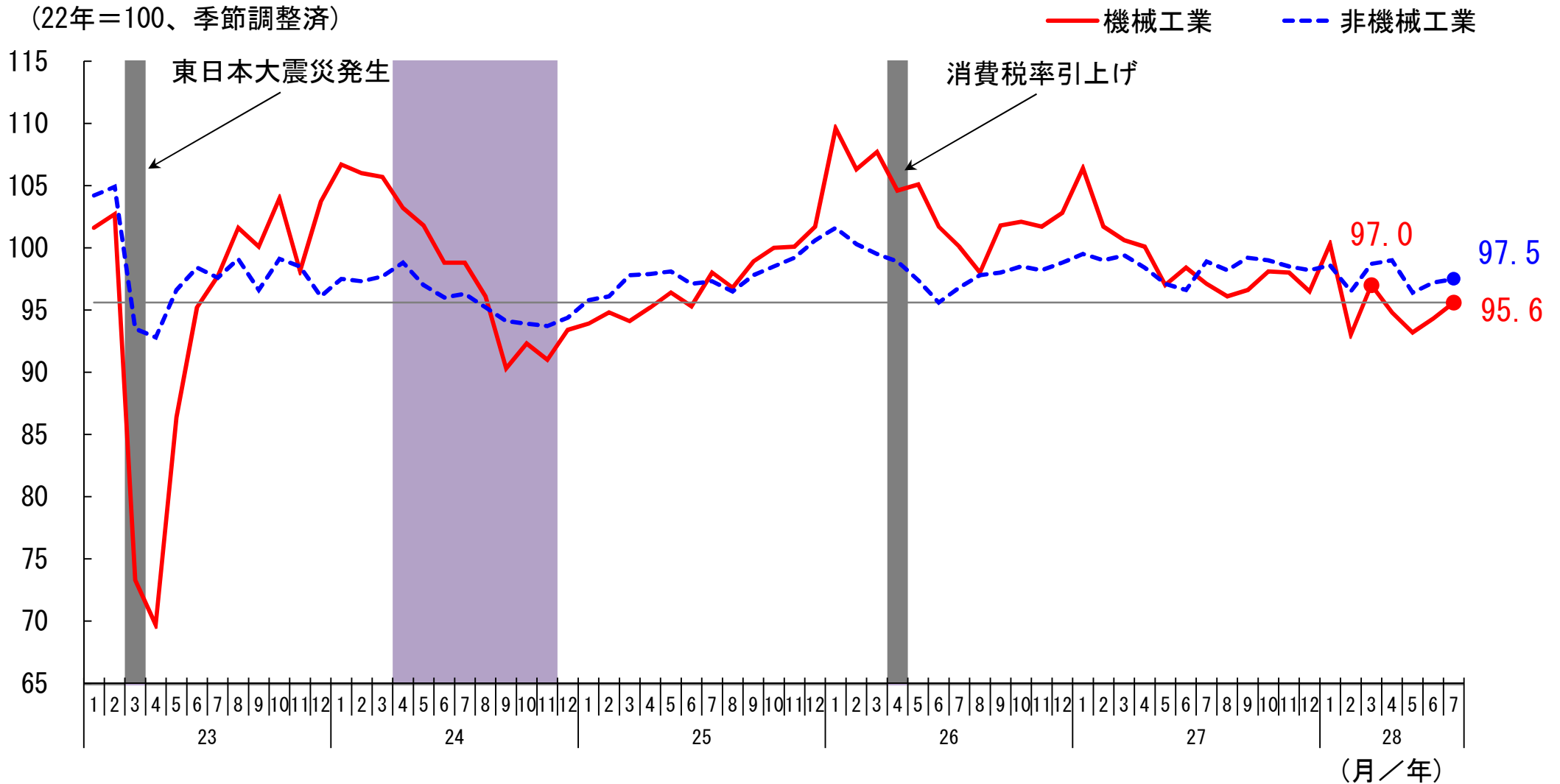
(22年=100、季節調整済)



(注) 水色のシャド一部分は景気後退局面

# 機械工業と非機械工業の稼働率指数の動向

- 平成28年7月の機械工業の稼働率指数は95.6(前月比1.4%)と2か月連続の上昇。  
平成28年3月の97.0以来の指数水準。
- 非機械工業の稼働率指数は97.5(前月比0.3%)と2か月連続の上昇。



(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面

# 製造工業稼働率指数への業種別寄与度分解

- 平成28年7月の製造工業稼働率指数は、はん用・生産用・業務用機械工業などが低下したものの、  
輸送機械工業などが上昇したため、前月比0.6%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

